

『**風と光**』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、
地域教育の「**横の連携**」と「**縦の接続**」
を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に8回程度の発行を予定しています。

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

(1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。

(2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

第3回 南都留教育相談ネットワーク会議

～より効果的な青少年支援対策に資する活動～

2月4日(水)、第3回南都留教育相談ネットワーク会議(会長:藤森雅恵都留児童相談所所長)が南都留合同庁舎大会議室で開催されました。

当日は会員等20名が参加。今回は、都留市教育研修センター教育相談員 黒部栄一先生と、山梨県立ふじざくら支援学校地域支援部 芦沢マミ先生による活動報告・事例報告の発表および研究協議が行われました。

都留市教育研修センターからは教育相談部の活動内容の報告のほか、具体的な事例を取り上げ、教育相談の現状と課題について発表していただきました。また、ふじざくら支援学校からは教育相談や訪問支援・研究支援等の地域支援活動についての説明がありました。研究協議では、発達障害の児童生徒へ対応方法について議論が交わされました。



明日の風 アスリート実技講習会

～より早く より高く より強く～

明日の風 アスリートクラブおよび北都留地域教育推進連絡協議会(会長:石井由己雄大月市長)主催「第6回 明日の風アスリート実技講習会」が、2月21日(土)大月市営陸上競技場で開催されました。3ヶ月ぶりの講習会でしたが快晴のもと、地元の小中学生約40名が参加し、それぞれのレベルに合わせて、各種目に爽やかな汗を流しました。

ウォーミングアップ後、短距離走・ボール投げ・走高跳・走幅跳・ハードルに分かれ、種目ごとの練習を行いました。今回はグランドコンディション不良のため、それぞれの種目の「動き」を確認しながら、基礎基本を中心としたトレーニングとなりました。参加した小中学生は指導者のアドバイスを熱心に聞きながら練習に励む一方、常に笑顔と歓声が絶えない講習会となり、みな陸上を楽しんでいる様子が伝わってきました。



「第7回アスリート実技講習会」は、3月7日(土)を予定しています。今年度最後となりますので、多くの方の参加をお待ちしています。今年もたくさん子どもたちが、「アスリート実技講習会」を通して貴重な経験をすることができました。子どもたちにとってはたくさんのスタッフの指導により、技術を向上させることができましたとともに、他の小学校の仲間や中学生の先輩との交流の場にもなりました。ぜひ来年度も多くの方に参加していただき、たくさんの方の事を楽しく学んでほしいと願っています。

谷村工業高校・都留興譲館高校 『教育実践公開発表会』



～ 発見・創造・感動！ 明日の技術を考える！ ～

谷村工業高等学校(手塚芳一校長)および都留興譲館高等学校(上小澤仁志校長)では、1月31日(土)に都留市文化ホールにおいて「平成26年度教育実践公開発表会」を開催しました。12回目を迎えた今年は、都留興譲館高校開校に伴い初めての両校合同開催となりました。

教育実践発表では、都留興譲館高校1年生が工業科のインターンシップ、英語理数科の国際交流について発表し、普通科は合唱を披露。次いで、谷村工業高校2年生が

沖縄の修学旅行の様子を発表しました。また、課題研究発表では、谷村工業高校4科の3年生が、専門課程で学んできた内容をもとに、課題研究として1年間取り組んできた研究成果を発表しました。各科の発表内容は次のとおりです。

機械工学科：「エコランカーの製作」 電子工学科：「再生可能エネルギーの利用を知る」
制御工学科：「EV バギーの製作」 環境工学科：化学系「ペットボトルをもとの原料に戻す」 土木系「住宅の模型作り」

今年度から2ヶ年計画で取り組んでいる「4科合同プロジェクト『YAMURA FINAL PROJECT』」では、「小型水車による小水力発電」についての中間報告がされました。これは、4科が「ものづくり」の集大成として、山梨大学工学部と連携して「調査・研究・設計・製作」に取り組んでいるプロジェクトです。また、会場のロビーでは、生徒の作品が展示され、日頃の生徒と先生方の取り組みの成果を拝見することができました。

都留高校 『SSH 研究発表会』

～ 山梨から世界へ、そして未来へ～

都留高等学校(志村憲一校長)では、2月10日(火)に「平成26年度都留高校SSH研究発表会」を開催しました。当日は、県内のSSH指定校の担当者のほか、県内外の小中高等学校の教職員多数が参加し、「公開研究授業」「グループ研究ポスターセッション」「Super Science 代表発表」「SSH研究報告会」がそれぞれ行われました。1・2年次生合同で行う「グループ研究」は、都留高校の特徴ある課題研究への取り組みの一つで、生徒主体で研究テーマを設定し、仮説を立て、検証を行うものです。ポスターセッションでは、先輩から引き継いだ継続的な研究や、学校や地域の特色を活かした研究成果を発表。生徒は発表後の質疑応答にも熱心に対応していました。また、「Super Science」発表では、生徒代表が地元で発生する光化学スモッグの発生原因やそのメカニズムについての考察を、独自に実施した実験のデータを基に英語で発表しました。「SSH研究報告会」では、本年度SSHの研究指定2期10年間の取り組みとその成果・課題について、SSH担当者から報告がありました。また、第3期に向けて「自然科学系部活動の重視」「地域の小中学校教員に向けた理科研修講座の新設」「科目間横断の学校設定科目」「国際化を見据えた英語教育の拡充」等、課題克服策・事業進化策の説明があり、都留高校は新たなSSH研究指定の第一歩を踏み出しました。



富士北稜高校 『生徒発表会』

～ 明日を拓き 未来を創る～

富士北稜高等学校(宮下仁校長)では、2月14日(土)に「第8回生徒発表会」を開催しました。7つの系列の代表が、今年1年間の学習や活動の成果を発表。いずれの発表も「自分の進路に合わせて系列を選び、その実現に向けて2・3年次では専門的な学習に取り組む」という、学校の特色が十分に活かされていました。取り組みの基本となるのは生徒の興味・関心ですが、それぞれの系列の特性を生かした専門性の高い内容であるとともに、動画の活用など質の高いプレゼンテーションは見応えがあるものでした。また、単なる発表にとどまらず、問題提起や問題解決のための具体的方策の提案もあり、参加者がいっしょに考える時間と場にもなっていました。各系列の発表内容は次のとおりです。



建築デザイン系列：「Sexchange Day 2014」 ビジネス系列・情報系列：「私たちのFUJIYOSHIDA」
電気情報系列：「プラネタリウム」 福祉健康系列：「福祉系列で学んだこと」
機械テクノロジー系列：「チャレンジ2014 ～地域の「ものづくり」産業を支えるエンジニアを目指して～」
教養系列：「あなたに知ってほしい社会のニュース」

また、全国商業高等学校英語スピーチコンテスト出場者が、実体験をふまえて「前向きに自分の可能性を信じて努力することの大切さ」について英語で発表しました。教室には各系列と文化部(華道部・美術部・書道部・写真同好会)の作品が展示され、来賓や保護者、中学生をはじめ、多くの方々が見学しましたが、作品の完成度の高さに感心していました。

「1年生はたのしいよの会」 保・幼・小の連携

～忍野幼稚園・忍草保育所・内野保育所・忍野小学校の交流～

このほど、忍野小学校（池田一彦校長）で、1年生が来入児を招待し「1年生は楽しいよの会」が実施されました。この交流活動は、来入児が小学校への期待感を高め、幼稚園・保育所生活から小学校生活へ円滑に接続できることを目的としています。また、1年生が自分自身の成長に気づき、意欲的に学校生活を送ることを目指しています。

2月10日(火)と13日(金)の2日間に分け、忍野幼稚園・忍草保育所・内野保育所の来入児約100名が交流会に参加しました。当日は、来入児が学習用具の入ったランドセルを背負ったり、1年生に教えてもらって名前を書いたりして、小学校の生活や授業を体験しました。また、1年生が来入児の手を取って校長室や職員室、保健室等の学校案内をしたほか、ゲームと一緒に遊んで交流を深めました。ジャンケンゲームでは最初は恥ずかしがっていた来入児もいましたが、1年生をまねしながら少しずつ元気に歌う姿が見られました。



地域の教育資源を活用

～秋山中学校で職業体験とゴルフ体験～

秋山中学校（田辺洋利校長）ではこのほど、「健全な勤労意識の育成」「地域産業の理解」「自分の可能性や能力・適性の模索」を目的に、総合的な学習の時間の一環として職業体験と



ゴルフ体験を実施しました。学校の目の前にある秋山カントリークラブと連携して開催し、同校の生徒約40名が参加。秋山カントリークラブのスタッフからカート清掃やクラブの手入れ

れ等の指導を受けて、ゴルフ場の仕事を学ぶとともに、保護者の指導でゴルフの打ちっ放しやパターの体験をしました。

参加した生徒からは、「職業体験では（スタッフの方が）お客さんのためにていねいという気持ちでがんばっていて、私もお客さんのためにがんばるといふ心を知ることができました。」「ゴルフは年齢に関係なく楽しめるスポーツだと感じました。」「来年も後輩たちに楽しい体験をさせてあげてください。今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。」等の感想と感謝の言葉が寄せられました。生徒たちは今回の体験を通して、ゴルフ場を身近な存在と感ずることができ、郷土の産業としてのゴルフ場を見直すきっかけとなったようです。

秋山中学校では、同校の特色となるよう、来年度も引き続き実施していく予定です。



桂川・夏狩湧水の清掃活動

～東桂中学校・河川クリーンキャンペーン～

東桂中学校（白井明彦校長）では、日頃より東桂地区の生徒の健全育成を目指して、地域連携を深める活動を実施しています。その取り組みの一つに「桂川・夏狩湧水グリーンキャンペーン」があります。

この取り組みは、平成20年6月に環境省から「平成の名水百選」に選定された「十日市場・夏狩湧水群」の環境保全を図るために、桂川・東部地域協議会と東桂中学校が連携して実施している活動です。

今年度も協議会関係者や地域住民のみならずとともに、東桂中学校の生徒約30名が参加して1月9日(金)に実施さ



れました。当日は、グループに分かれて、柄杓流川流域に捨てられたペットボトルや空き缶、ビニール袋などのゴミを回収。参加者全員で、全国に誇りうる美しい郷土の水環境の保全活動に爽やかな汗を流しました。

また、同校では「自然愛護」「生命尊重」「環境保全」の観点から、「東桂の名水が育む命」に取り組んでいます。この活動は、ヤマメの採卵と受精、飼育、放流を体験し、命のすばらしさを知り小さな命を守り育てる意欲と態度を培う

ことを目的に、同校の桂鮎部の生徒を中心に、地元養魚場や都留文大生の協力を得て活動しています。3月には、生徒が育てたヤマメの放流会が計画されています。



高校の先生から学ぶ会

～富士河口湖高校の中高地域連携交流事業～

富士河口湖高等学校(小石川正文校長)では、2月4日(水)に下吉田中学校2学年の生徒を対象に、「出前授業・高校の先生から学ぶ会」を実施しました。この交流事業は「高校の教員から授業及び講話を受けることを通して、高校での学習と生活について理解を深めるとともに、進路決定にあたり現在の自己のあり方を見つめ、将来の自己の生き方について考える機会とする」ことを目的としています。



当日は、富士河口湖高校の教員が国語・社会(歴史)・数学・理科・英語・家庭の各教科の授業を実施したのち、高校進学を目指す中学生に身につけてほしい社会性や生活態度・学習態度等についての講話がありました。参加した中学生は普段とは少々違う内容に戸惑う場面もありましたが、高校の先生が行う授業に興味をもって真剣に取り組んでいました。また、高校の授業や部活動についての質問をするなど、来年度の進路決定の参考としていました。

学習支援スタッフの派遣

～吉田高校・教育ボランティア活動～

吉田高等学校(坂本明大校長)では、毎年2月に地域貢献(ボランティア活動)の一環として近隣の小中学校に「学習支援スタッフ」を派遣しています。同校ではこの事業を通して、高校の教育活動への理解を深めてもらうとともに、小中高の連携により地域全体の教育力向上を目指しています。平成20年度より始まったこの事業も今年度で7回目となりました。今年も3年生の進路決定者の中から教育系への進学を目指す生徒を中心に、約20名が下吉田第二小学校・忍野小学校・下吉田中学校において教育活動の支援を行いました。

主な活動内容は、小学校では授業中の学習補助や清掃・給食の手伝い、中学校では定期試験に向けて行う放課後補習の補助や高校の生活・学習についての話や相談の対応などです。参加者からは「初めは、どのように対応したらよいか不安だったが、小学生から近づいてくれて、話したり遊んだり勉強したりして、大変貴重な体験ができた。」「小学校の先生が、児童全員の面倒をみたり、事務もこなしたりと、先生は本当に忙しいと感じた。」などの感想が寄せられました。今までに「教育ボランティア」に参加した高校生の中には、実際に教員になることを目標に勉学に励んでいる者もいて、生徒が自分自身を大きく成長させる貴重な機会にもなっています。



来年度の主要事業の予定

北都留地域教育推進連絡協議会(地域教育「明日の風」)および南都留地域教育推進連絡協議会の平成27年度主要行事予定は次のとおりです。詳細については、改めてお知らせします。

北都留地域教育推進連絡協議会(地域教育「明日の風」)総会・教育講演会

平成27年7月9日(木) 受付開始:午後1時30分 会場:上野原市文化ホール「もみじホール」

南都留地域教育推進連絡協議会総会・講演会

平成27年6月24日(水) 開始:午後2時 会場:富士ふれあいセンター

南都留地域教育フォーラム

平成27年11月2日(月) 開始:午後1時30分 会場:下吉田中学校

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHPからご覧いただけます。】

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 【】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841